

協力

76



伝道団体連絡協議会

〒101-0062
東京都千代田区神田駿河台2-1 OCC 614号室
Tel. 03-3291-5035
www.dendankyo.com

FRONT ESSAY

善きサマリヤ人

ルカ 10:25-37

私たちは愛をもって人に仕えることなくして、正しく神様に仕えることは出来ません。人を愛するとは、その相手を支え、祝福することであり、干渉しないことではありません。「あなたの敵を愛せよ」と聖書にありますが、私たちは敵を許すだけでなく、祝福する必要があります。敵を祝福する時に、私たちは怒りの束縛からも開放されるのです。

はじめに、イエス様と律法学者とのやり取りがありました。25節で、「先生、何をしたら永遠の生命が受けられましょうか。」と律法学者が質問します。イエス様は「律法をどう読むのか? (26節)」と逆に質問を返されました。律法学者は「心を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛せよ、また、あなたの隣人をあなた自身のように愛せよ。(27節)」と答えます。するとイエス様は彼にこう言われました——「あなたの答は正しい。そのとおり行いなさい。そうすれば、いのちが得られる。(28節)」——この律法学者は聖書をよく知っていて、人に教えることもできる程でしたが、1番重要な愛が欠落していたのです。

その後、譬え話が語られます(30~35節)。この話は律法学者に向けられていますが、同時に私たちクリスチャンに語られていることでもあります。

1人のユダヤ人が、エルサレムからエリコへ下る途中の道で、強盗に襲われ道端に倒れていました。そこに、祭司がやって来ます。しかし彼は反対側を通り過ぎて行ってしまいました。祭司は神様に仕える身でありながら、傷ついて倒れている人を無視して行ったのです。そこへ同じ様にレビ人もやって来ました。しかし、同じように彼もまたチラッと見ましたが、無視して行ってしまいました。彼もまた祭司と同じように神殿で祭司の働きを補助する、神様に仕える人なのです。

なぜ彼らは神様に仕える身でありながら、傷ついた人を無視して行ってしまったのでしょうか。それは、彼らが神様に仕えていたからです。正確に言うと、神様だけに仕えていたからと言えるでしょう。

当時のエルサレムでは神殿で犠牲を献げる時間が決まっていた。彼らは神殿に行く途中で傷ついた人を助ける時間がなかったのです。もし、血に触れてしまったら汚れてしまい、神殿で奉仕することができなくなってしまいます。彼らは倒れている人を助けるよりも、神殿で神様に仕えることの方が重要だと考えていました。確かに神様に仕えることは重要ですが、「隣人を愛することなくして神様に仕えることはできない」という、イエス様のメッセージがここにあります。

私たちもこの祭司やレビ人のような時があります。目的を達成させるために様々なことを行いますが、疲れた人や弱さを覚える人に愛を注ぐことができず、心をいらだせたり、無視をしてしまうことがあります。私達はいつエルサレムからエリコへ下る道を通らされるか分かりませんが、善きサマリヤ人のように、隣人に対して愛を実行するものでありたいと思います。

hi-b.a.代表スタッフ
川口竜太郎

祝福された

伝道団体連絡協議会 フェスティバル

去る6月16日土曜日、東京のお茶の水クリスチャン・センター8Fを会場に、「伝道団体連絡協議会フェスティバル」が開催されました。加盟する各種宣教団体が、いかなる使命と賜物を主からいただき、いかに主の諸教会にお仕えし得るかを知らせていただくことを目的として、15団体がブース出展、またホールでの活動報告やパフォーマンスを行いました。

小雨も降る不順な天候でしたが、延べ200名を超える方々がご来場くださり、良き交わりや活発な団体の活動に対する質問等もいただき、主の大宣教命令に邁進する諸教会の宣教の働きに少しでもかお役に立てたのではと感謝しています。

ホールでのパフォーマンスは、ONE WAYの表情豊かに福音を語るパペットたちに、あらゆる年齢層に福音を届ける器としてのパペットミニストーリーの存在感を表していただきました。続けての新生宣教団による活動報告は、福音未伝地に教会と協力しつついかにみ言葉を届けるか、祈りに導かれた地道な働きに感動を覚えました。

少し趣が変わって、ゴスペルシンガーの上原令子さんによるコンサートです。上原さんは、昨年の東日本大震災直後から被災地を訪れ、避難所や仮設住宅などで現在までに50回を超えるコンサートを行い、被災者に寄り添い共に生きてくださっています。そこでの人々との出会いや報告、また世界の飢餓と貧困に苦しむ人々の隣人となって度々現地を訪れておられ、そこでの人々との出会いから歌が生まれ、その歌とトーク、映像によって「この最も小さき者」と共に生きる素晴らしさを聞く者に伝えてくださいました。

教会に若者がいないとの嘆きや、どのように若い人々に福音を伝えてゆけるかの必要にお応えできればと、hi-b.a.スタッフによる青少年宣教セミナーがもたれました。60年の長きに渡っての活動からのヒントや、小グループに別れてのディスカッションは、お互いの持つ悩みや疑問に具体的な示唆が与えられたのではないのでしょうか。

最後は、姉と弟の絶妙なコンビネーションが美しい、レインボーミュージクの心に染み渡る歌声に、皆が主を褒めたたえ、このフェスティバルに幕をおろしました。

もう少し案内がゆき届いていたら、もっと多くの方々に来場いただけたでしょう。そのような課題を次回に生かして、大宣教命令に生き従う諸教会にお仕えする伝道団体連絡協議会は、諸教会にお仕えしてまいります。

(文・日本国際飢餓対策機構 田村治郎)



小さいのちを守る会

<http://www.chiisana.org/>

〒185-0003 東京都国分寺市戸倉2-25-12
電話・FAX 042-574-7576
代表:辻岡健象

小さいのちを守る会 軽井沢キャンペーン!

「すべての造られたものに福音!」をモットーに、まずいのちの初めである胎内宣教から始めて20数年、教会とこの世の接点に立って宣教活動を続けています。

この初夏、志と祈りを一つにする「いのちの掲示板」齋藤佳雄代表に協力して、現在社会の大問題である中絶問題を取り上げ、プロのアーティストによる朗読舞台劇「ママ、ボクを殺さないで!」を公演。脚本作成の段階で、すでに、帝劇、歌舞伎の照明や音響係の第一人者が協力を申し出てくださる大反響。上演中も舞台と客席が一つとなって神が造りたいのちの感動を分かち合いました。神が造りたいのちの尊厳と大切さを知って、「真面目なクリスチャンになりたい!」と信仰の決意をされた方々!。この世の中に出て行き、この世と共に神が造りたいのちの感動を分かち合うとき当然のように神の言葉が伝搬され、宣教されていくことを再確認させられました。(DVD制作中、映画化希望もいます。)

そして真夏日、恒例の軽井沢キャンペーン。神の導きによって親子縁組した子供達が成長して一生懸命6,000枚トラクト配布。「良い働きをしているんですね」と、トラクトを読んだ人達からの応援歌でした。

この世に出て行って、この世と交わってすべての人々に福音を宣べ伝えよ、と言われる主の命令を改めて痛感した夏でした。そして今、実りの秋が近づいています。



JTJ宣教神学校

<http://jtj.gospeljapan.com>

〒110-0015
東京都台東区東上野5-11-9
電話 03-3842-3412 FAX 03-3842-3415

理念

創立の趣旨

本校の創立は、1990年、クリスチャン人口1%、礼拝出席人口0.2%という日本の宣教実情に対して、深い悲しみと、激しい挑戦的情熱とを覚えてきた「青年宣教大会に関係する者たち」の再献身によって実現しました。

1. 穏健な福音主義と偏らない超教派

本校の神学的な立場は、穏健なプロテスタント福音主義です。聖書を「神の真理の言葉」と認め、キリストを「神の子・救い主」と告白し、すべてのクリスチャンは宣教の働きへの召命を受けている、ということを確認する私たちは、「キリストにあって一つ」であることを大切にします。

2. 神学と実践

「神学なき宣教は危険であり、宣教なき神学は空虚である」本校の教育学習の強調点は3つあります。

- 聖書66名書の学び：聖書の全体性・統一性を学びます。
- 実践神学：各種伝道団体などの協力をいただき、「宣教の神学と方法」を身につけます。
- 刷新論：健全な福音理解に立ち、21世紀の日本における宣教の「新しい皮袋」の創造に挑戦します。

3. 聖書と日本

聖書を解釈し、それを日本における宣教に適用していくとき、過去の特定の時代の教会が生み出した、特定の神学や文化が入り込んでくると「純粹の孤立型」か「妥協の埋没型」が生じやすくなります。そこで、日本宣教に向けて、福音の十全な理解に立つ新しい神学「新しい皮袋」の創造が大切になります。それによって、「キリスト的埋没型」宣教の実現ができるものと確信します。

4. 多様性と統一性

「キリストのからだ」なる教会につらなる私たちは、「みな違う・みな大切」という命題を大事にします。それは本校の講師陣の神学的な立場においても、学生たちの出身教会の教理的立場においても言えることです。



NEWS FLASH

伝団協 加盟団体の 近況・祈りの課題

■アジアン アクセス

- ◆ 指導者研修等の動きがアジア全土に拡大するように。
- ◆ JCGI ネットワーク（日本）のために：
 - ・ 牧師研修の研修生・修生の諸教会が力強く成長するように。
 - ・ 各地で開催されている教会ネットワークが更に充実し、多くの教会が生み出され、日本を満たすように。
 - ・ 昨年から取り組んでいるリーダーシップ・リニューアルのために（9月米国研修、11月全国研修等々）。
 - ・ 各地に派遣されている宣教師の動きのために。

■いのちのことは社

今秋、11月2日～2013年3月2日迄、「星野富弘 花の詩画展 in お茶の水」を開催いたします。多くの方に来会いただき、詩画の証しを通して神様を求めの方々が起こされますように。

■教会インフォメーションサービス

- 1、11月初めに行う年次集計のため、準備を順調に進めることができるように。
- 2、教会の成長、前進に役立つデータを提供していく為に、よい知恵が与えられるように。
- 3、経済的な必要が満たされるように。

■クリスチャン・サーファーズ・ジャパン

- ・ CSJのサーフィン伝道によって、一人でも多くの日本のサーファーに福音が届くように。
- ・ 新作DVD『プロミスト・ランド：サーファーの目を通じたイスラエル』が伝道に豊かに用いられるように。
- ・ 被災した東北のサーファー達への継続的支援のために。

■クリスチャン文書伝道団

- ・ 様々な要因により、文書伝道の動きが困難になってきています。この状況を少しでも改善することができるように、スタッフ一人一人がみことばと祈りを通して、神様から知恵と力が与えられますように。
- ・ 世代交代が順調に進みますように。

■高校生聖書伝道協会 (hi-b.a.)

夏の活動（主にキャンプ）が守られたことを感謝しています。与えられた高校生が定期集会等につながり、そこからさらに高校生による高校生伝道が前進していくようにお祈りください。また、渋谷のhi-b.a.センターやキャンプ場の整備のための必要が満たされるようにお祈りください。

■国際ナビゲーター

夏休み期間中、各地の学生たちがスタッフとアメリカ旅行へ出かけました。アメリカの文化、教会やクリスチャンファミリーのあたたかさを感じ、イエスさまへ心が開かれてきました。引き続き主が彼らの心に働きかけてくださるように。

■こころの友伝道全国連合会

牧師と信徒が祈りつつ協力しながら、主の福音を求めの方々の友となって導くこころの友伝道が、全国の諸教会に広がりますように。2013年夏の60周年記念全国大会（於横浜市）が祝福されますように。

■総動員伝道

- * 日本に大きな霊的リバイバルがもたらされるように。
- * 若い献身者が多く起こされるように。
- * 高齢の牧師が健康で伝道・牧会に励む事が出来るように。
- * 経済的ピンチが続いています。月々の必要が満たされるように。

■太平洋放送協会 (PBA)

- ・ ラジオ「世の光」、テレビ「ライフ・ライン」が用いられ、教会につながる人が起こされますように。
- ・ 10月22日（月）～23日（火）村上宣道師をメイン講師に「伝道説教セミナー」が開かれます。昨年を受講者からは、「村上先生の牧会生活と放送伝道に携わるラジオ・TV牧師としての経験から余すところなく語っていただいた」との感想を頂いています。祝された集まりとなりますよう、お祈り下さい。

■ハーベスト・タイム・ミニストリーズ

弟子訓練プログラムが祝されますように。
具体的には、①聖書塾、②恵比寿での定例会、③大阪月例会です。また、無料でメッセージが聞ける「メッセージ・ステーション」の動きが、多くの方に利用していただけますように。

■日本国際飢餓対策機構

- ・ フィリピン、ニジェールの大洪水の復興支援の働きのため。現地の教会が被災した地域の全人的必要に応えることのできるように。
- ・ 世界食料デー大会のために。今年も全国で20箇所以上で行われます。これを機に、世界の飢餓・貧困と戦う人々の隣人になられる方が多く起こされますように。

■日本聖書協会

- ・ 聖書の新翻訳事業が祝されますように。
- ・ 耳の不自由な方のための「手話訳聖書DVD」が一日も早く全巻完成され、用いられますように。

■B. F. P. Japan

B.F.P.Japanでは、引き続き人材のためにお祈りいただきたいと思います。少数のスタッフが、それぞれ多くの業務をオペレーションしています。スタッフの霊・心・体の健康が守られ、十分な働きをして主に栄光をお返ししていくことができるように。

『協力』76号

発行日:2012年10月20日

発行所:伝道団体連絡協議会 郵便番号101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1 OCCビル 614号室
TEL.03-3291-5035 FAX.03-3291-5266 www.dendankyo.com info@dendankyo.com

発行者: 姫井雅夫